

令和7年度 岩谷堂高校教職員 働き方改革アクションプラン

～健康で文化的な生活のために～

岩谷堂高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R6年度:0人(参考:R5年度:14人、R4年度:7人)
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R6年度:15.0日(参考:R5年度:16.1日、R4年度:15.0日)

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・長時間の時間外勤務が常態化している教職員もいる。
 - ・献身的に業務を行っている。
- 管理職のマネジメント
 - ・職員との面談を通して、業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- R6年に引き続き、時間外在校等時間が月80時間以上の者を0人にすることを継続します。
- 年次休暇の平均取得日数を16日以上にします。

【目指す姿】

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しについて職員全体で考えている。
- ・ 教職員が授業や授業準備に集中できている。
- ・ 教職員が業務にやりがいを感じている。
- ・ 教職員が自身や家庭の時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・ 管理職が、年次休暇取得について積極的に呼びかけを行います。 ・ 週1回以上の定時退庁の取組を実施し、教職員の健康を確保します。
(2)	学校における業務改善の推進	・ 分掌組織や部活動の見直しを図り、業務の効率化に取り組みます。 ・ 学校行事や業務のスリム化を図り、ゆとりのある学校運営を行います。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・ 年度途中においても分掌内の役割分担を見直し、業務の平準化を目指します。 ・ 働き方改革の取組について、note等を活用して保護者や地域の方に周知を行います。
令和7年度 重点取組事項		・ 月途中にも時間外在校時間を職員に知らせることで、在校等時間が長い教職員に声掛けし、健康確保の観点から、在校時間短縮の方策を検討します。 ・ 会議等の日程を調整して、年次取得率の向上を目指します。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 学校のnoteやHPを通じて、地域・保護者に対してプランの内容を紹介します。